

「OK!」から「Let's!」へ 「育てたい子供・若者像」「つくりたい地域」に向け、地域・学校が「一緒にやろう!」



きのくにコミュニティスクール

～地域、学校 共に元気になるために～

「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会制度」を導入した学校を指します。和歌山県では、平成30年度に、全国に先駆けてすべての県立学校に導入され、全校種合わせた導入率は96.1%と、全国1位となっています。今後の各地域や学校において展開される活動に注目が集まっています。（導入率データ…R3文部科学省調査より）

学校という場を核として、地域住民同士の絆が深まる…そんな取組を!

【きのくにコミュニティスクールで期待される効果】

- ★ 地域住民と子供、教職員が顔見知りになって、良好な関係が築かれます。
- ★ 小・中・高等学校・特別支援学校が一斉にコミュニティ・スクールとなったことで、学校間の連携が進み、地域全体で子供を育てようという意識が高まります。

POINT
地域が違い、学校が違い、子供が違えば、課題も取り組む内容も効果も違って当たり前! 自分の地域は? 学校は? 子供は? を中心に考え **オンリーワンのコミュニティ・スクールを!**

1 学校運営協議会は、どんな人が委員になっているの?

(委員例) 保護者や地域住民、コーディネーター、公民館長、地元商工会、地元自治会、企業関係者、社会教育委員、地区防災担当者、近隣学校関係者 等

コーディネーターとは
地域住民等の中から、**地域と学校の橋渡し役として活動する人**

POINT
学校や地域の実情に応じ、課題解決に向け **一緒に行動してくれる人!**
何よりも **当事者意識を持って関わってくれる人!**

2 学校運営協議会では、実際にどんなことが話し合われているの?

どんな子供を育てたいのかを話し合い、実現に向けての方策を考えます。

- (例) ★携帯電話のルール作りについて
★来年度に向けたスクールプランについて
★ふるさと学習の進め方について
★読書好きな子供を育てるために… 等

POINT
地域にとっても学校にとってもプラスになる
という考えのもと、多くの方が参画する取組にしたいですね!

3 学校運営協議会3つの機能とは?

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する（必須）
- ② 学校運営について教育委員会または校長に意見を述べるができる（任意）
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について教育委員会に意見を述べるができる（任意）
(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

POINT
**学校運営協議会は
法律に基づいた合議制の機関!**

4 学校運営協議会で大事なことは?

学校運営協議会で最も大事なことは、校長が作成する学校運営基本方針の承認です。その大切なイメージは、

“OK” から “Let's” へ!

第三者的に評価・了解にとどまるのではなく、当事者として一緒にやろうという意味での承認です。

POINT
**教職員と学校運営協議会委員が
目標を共有**することが大切!

「きのくにコミュニティスクール」は、**学校運営協議会**を設置した学校(=コミュニティ・スクール)と、それを支える「地域」が、共通の目標に向かって連携・協働し、**社会総掛かりで教育を実現する「仕組み」**です。



学校や地域の実情に応じた活動が広がっています

【紀美野町立美里中学校】

課題…過疎化（地域）、生徒数減少（学校）⇒ 学校も地域も一緒に活気あふれる取組を!

総合防災訓練

P
計画

学校・家庭・地域が一体となり、地域全体の取組として、総合防災訓練を実施しよう。

D
実行

地域、下神野小学校との共催で総合防災訓練を実施。中学生は防災訓練の準備や避難所の運営を行い、小学生は簡易トイレ作りに取り組んだ。



地域活性化!
自他ともに愛し、
社会性のある生徒に!

A
改善

- ・多くの地域住民に参加してもらうアナウンスの方法を工夫する。
- ・有事の際に備えて、企業等との連携を考える。

C
評価

- ・小・中学生が輝いていた。
- ・中学生が地域貢献する貴重な機会である。
- ・地域の子供と住民が参加した防災訓練は非常に価値がある。

紀美野町立美里中学校区 学校運営協議会会長 松本 守信 氏

地域の方と接することで、中学生は学校生活では見せない潜在力を発揮します。地域の方も、中学生が実践的に活躍している姿を見て元気になります。この仕組みは、学校・家庭・地域・各団体など、皆にとって有益であると思います。

【県立那賀高等学校】

目的…那高生を知る（地域）、生徒の社会的な成長（学校）⇒ 地域と学校が一体となって主体的な取組を!

那高キャリア教育支援事業

P
計画

生徒が大人との対話を通して、自分の生活や今後の生き方について考える機会を設定しよう。

D
実行

学校運営協議会会長のコーディネートで、クラス代表生徒とのパネルディスカッションを開催した。



大人との交流を通じて、
自分で自分を問い直し、
自己を成長させる!

A
改善

- ・学校教育において校外の方々と交流する機会を持つことは必要である。
- ・教員は、社会的に成長していく生徒の姿を見て、日々の教育活動を工夫していく。

C
評価

- ・生徒は発言を通じて、自分のことをよく知ろうとしていることがよかった。
- ・自らを振り返る機会を持つことはキャリア教育を進める上でも大切である。

県立那賀高等学校 校長 森 勝博 氏

教育活動において、外部の方々からのサポートを得ることは、生徒のみならず教員にも新たな気づきや発見が生まれ、教育活動全般の活性化につながっていくと考えます。